

折り紙王子と恐竜に挑戦



有澤悠河さん(手前左から3人目)からアドバイスを受けながら折り紙を折る参加者。岐阜市神田町、G's Dream

岐阜市で親子講座 2時間で完成

紙すき職人で折り紙作家の有澤悠河さんを講師に招いた「折り紙ワークショップ」(ぎふしん記念財団主催、岐阜信用金庫共催)が13日、岐阜市神田町のにぎわい交流拠点「G's Dream(ジーズ ドリーム)」で行われ、参加者が折り紙でティラノサウルスを作った。

(玉田健太)

札幌市出身の有澤さんは、中学生の頃からオリジナルの折り紙作品の制作に本格的に取り組む、高校卒業後から、美濃市の手すき和紙工房「コルソヤード」で勤務。「折り紙王子」とも呼ばれている。

ワークショップには岐阜市を中心に県内外の小中学生とその保護者ら計約110人が参加。有澤さんの手ほどきを受けながら、折り筋をつけるなど30以上の工程の作業に親子らで協力し